

惠木 徹さん (広島県福山市出身)
2016年度1次隊 青年海外協力隊
派遣国：パラグアイ 職種：家畜飼育
2017年5月7日(日) 中国新聞 SELECT 掲載



※中国新聞社の許諾を得ています

朝は茶の回し飲みから

自分は今、日本の真反対のパラグアイという国に住んでいる。ブラジル、アルゼンチン、ボリビアに囲まれた内陸国だ。パラグアイには、マテとテレレと呼ばれる伝統的なお茶があり、毎朝「おはよう」のあいさつとともにマテを差し出される。マテは熱いお茶。テレレは冷たいお茶だ。



週末には BBQ や食事を楽しむ。陽気な現地の人とはすぐに打ち解けた

コップに茶葉を入れ、ボンビージャと呼ばれるフィルター付きストローでこしながら飲む。数人集まって一つのコップで回し飲みするため自然と会話が増え、とても良いコミュニケーションツールとなっている。

ここでは、ヘネラルアルティエーガス市の農業部で農業技師として活動している。地域の乳生産の向上が目的で、夜明け前から酪農家を訪問し、搾乳手順の助言や家畜飼養についての相談に乗っている。

市役所での活動は午前中に終わるため、午後からは自由だ。「さすが南米！！」と実感せざるを得ない。毎日のようにサッカーを楽しんでいる。暮らし始めてすぐに友達ができ、町になじめたのもこのサッカーのおかげだ。今は町クラブに入会しており、毎週土曜は試合がある。

毎週日曜はアサード、つまり BBQ (バーベキュー) を楽しむ。骨付きのブロック肉を塩とレモンで味付けし、炭火でじっくりと焼いただけなのだが、これがかなりおいしい。その豪快さ、おいしさを伝えきれないことがすごく残念だ。アサードを食べるだけにでも、パラグアイを訪れる価値があると考えている。